

インド仏心寺通信

第17号

発行日 平成28年6月25日

発行 インド仏心寺を支援する会事務局

豊岡市中央町5-35 来迎寺内

http://www.busshinji.in

大宝寺で法話と写真展!

三連休の真ん中、三月二十日に福井／大宝寺にてイベントを行いました。お彼岸の法要に合わせ開催される『水吹き地藏まつり』にさらに合わせて、法話と写真展を楽しむイベントを開催。



法話の講師は河野村出身で、神戸とインドを往復しながら活動を行っている清水良将上人。『当たり前って、何だ?』インドから見た、日本のすがた」というタイトルでお話をしていただきました。



ブダガヤの仏心寺での経験や日本とインドの違いをテーマに、ビデオなどもまじえてお話をさせていただきました。日本

ではあたりまえと思われることがインドでは違っています。また、その逆もあります。その中に学ぶことがあるということをお話させていただきました。

Facebookで告知の甲斐もあり、ありがたいことに福井市など市外からも参加者がいらつしやいました。終了後は座談会も開催。落語家さんも交えて、ディープなフリートークを繰り広げました。

『水吹き地藏まつり』では法要のほか、落語、ぜんざいやおろしそばのふるまいなども行われました。



さらにそのご縁で「太陽のこどもたち」という題の写真展を開催するのはこびととなりました。いつも、三月下旬から四月上旬には境内にあるしだれ桜が咲きます。例年、花見にくる人が多せいおられます。

越前市地域おこし協力隊の小野寺さんに応援をして頂き、四月五日まで、本堂の一角に場所をもうけ、広く一般の方々に公開することにしました。

写真展ではチルドレンスクールの子供たちをはじめブダガヤ、また、仏心寺に世界中から集まってくるお坊さんや仏教徒の人々をはじめバツクパッカーの若者たちの写真が紹介されています。さらに仏心寺に安置された文殊菩薩の開眼供養のようすも展示されました。質素



な中にも懸命に学ぼうとする子供たち、アジアの各地から集ってくる信仰心の厚い仏教徒、また、日本の有志の浄財によって建立された文殊菩薩のお像に展示会にこられた方々は感銘を受けたようです。私が興味をそられたのは、行道するお坊さん方に、子どもたちやお参りの人たちが紅白の生花の花びらをまいてお参りの写真です。日本では法要のさい紙製の蓮の花びらをまきますが、これがインド伝来の作法であることをあらためて教えていただきました。インドが、同じアジアの国として文化を共有していることに気づかされ、一層、親しみを感ずりました。また、数多くのメディアにも取り上げていただきました。改めてお寺の可能性を感じました。今後とも頑張ります。



「お寺でインドの写真展を開催します。」

Facebookでこのような告知を出してからの周りの反応は、予想をはるかに上回るものでした。すぐに地元新聞社とテレビ局から問い合わせがあり、二週間の開催期間中はのべ二〇〇〜三〇〇人程度の集客がありました。

来場者からは「綺麗な写真ですね」「インドという言葉に惹かれてやってきたが、こんな活動があるとは知らなかった」という声もあり、非常に満足いただけました。若いご夫婦が多いのが印象的でした。

もともとこの企画は、会場を提供くださった大寶寺のご住職より、「寺の行事に合わせてインドで活躍中の僧侶をお迎えするのだが、せっかくなので一般の方も広くお呼びしたい」と相談を受けたことがはじまり。

お花見の時期に重なっていたこと（大寶寺には大きな枝垂桜がある）、普段から本堂を開放されていることを考慮した結果、「一日限りではなく、好きなタイミングでふらっと訪れてもいい、お寺を身近に感じていただける仕組みを作りましょう」と、このギャラリー企画が生まれました。

結果として、「インドという国に興味がある方」「旅好きな方」「ボランティアに興味がある方」など、普段お寺にあまり馴染みのない層に、仏心寺の活動や大寶寺という存在を身近に感じていただくことが出来ました。さらに、この写真展に興味を持ってくださった坂井市安楽寺様にて、継続して展示していただけるという連続性も生まれました。



『お寺の中で、別のお寺の活動を紹介する』という試みはなかなかありません。このような「寺開き」の試みが、「輪」となっています。広がっていくことを望んでおります。

親縁山大宝寺住職 吉田悦應

越前市地域おこし協力隊 小野寺 康浩

「インド仏心寺を支援する会」平成27年度事業報告

- ◇「インド仏心寺通信」 第13号、平成27年1月23日発行
- ◇「インド仏心寺通信」 第14号、平成27年7月10日発行 「特別号」同時発行(寄付者向け)
- ◇「インド仏心寺通信」 第15号、平成27年9月10日発行
- ◇文殊菩薩奉納開眼ツアー開催 平成27年8月25日～9月2日 参加者
- ◇インドア・メーラへ出展 開催日時:平成27年10月10日～12日() 開催場所:神戸メリケンパーク
普賢菩薩ノミ入れ及び写真展示
- ◇浄土宗青年会イベント『テラキテ』において写真展示 会場:安養寺 平成27年10月18日

「インド仏心寺」平成27年度事業報告

- ◇教育事業・・・チルドレン・スクールの継続。制服の新調支給。学校外支援(ソヌの薬代支援)。
- ◇宿坊の運営・・・海外からの宿泊者は増えていますが日本人は減少している。
- ◇修正会・・・恒例の年越しを実施。
- ◇文殊菩薩開眼法要 平成27年8月28日
タイ・ブータン僧侶, チルドレンスクールの子供立ちが参列

「インド仏心寺を支援する会」平成28年度事業計画

- 1) 理事総会及び理事会(随時) 2) 里親制度の継続 3) 会員拡充活動 4) ホームページの更新
- 5) 文殊・普賢菩薩仏像奉納に関する事業
普賢菩薩制作(釈迦如来台座及び前机の制作含む)、9月末にツアー実施、勸募活動等
- 6) 各地写真展の開催 福井/大宝寺, 安楽寺 7) 「インド仏心寺通信」随時発行
- 8) 仏心寺の維持管理、調査、指導 9) その他、理事会に於いて必要と認めた事業

「インド仏心寺」平成28年度事業計画

- 1) 教育事業(チルドレン・スクール)継続 2) 宿坊修理(門扉の塗装修理等)
- 3) 人道支援(出来る範囲内での支援)
- 4) その他、現地の状況を把握した上で必要と思われる事業

○平成27年度インド仏心寺を支援する会決算報告

自:平成27年1月1日～至:平成27年12月31日

収入の部

単位:円

項目	予算	決算	増減	備考
支援会員会費	800,000	650,000	△150,000	
協賛会員会費	150,000	100,000	△50,000	
里親会員会費	450,000	410,000	△40,000	
寄付	650,000	158,463	△491,537	
一般寄付	50,000	78,305	28,305	募金箱寄付等
設立会員	600,000	80,158	△519,842	
雑収入	100	220	120	預金利子
前年度繰越金	407,224	407,224	0	平成26年度会計より
合計	2,457,324	1,725,907	△731,417	

支出の部

項目	予算	決算	増減	備考
事業費	1,371,790	649,521	△722,269	
インド仏心寺送金	1,201,790	500,000	△701,790	インド送金
支援する会事業費	170,000	149,521	△20,479	インドアメーラ参加費用・展示設備等
広報費	70,000	70,000	0	機関誌印刷発送・ブログ更新料
事務費	30,000	13,462	△16,538	
会議費	10,000	8,364	△1,636	
通信費	40,000	26,940	△13,060	
備品費	10,000	8,745	△1,255	インド備品
消耗品費	30,000	34,580	4,580	プリンターインク・カメラ修理等
旅行交通費	750,000	665,860	△84,140	駐在僧渡航費補助・駐在手当等
雑費	70,000	53,932	△16,068	振込手数料等
予備費	75,534	0	△75,534	
次年度繰越金	0	194,503	194,503	
合計	2,457,324	1,725,907	△731,417	

○平成27年度インド仏心寺決算報告

自：平成27年1月1日～至：平成27年12月31日

収入の部 ※予算/収入の部/現金残高の修正致しました。:前年度繰り越し金より

項目	予 算	決 算	円概算	備 考
銀行残高	Rs 14,423	Rs 14,423	¥ 25,961	円換算は、1ルピー:1,8円です。
現金残高	Rs 407,260	Rs 407,260	¥ 733,068	予算決算はルピーにて表記しております。円換算は、あくまで参考資料として掲載しております。
現金収入	Rs 500,000	Rs 509,362	¥ 916,852	
寄付金箱収入	Rs 1,000	Rs 0	¥ 0	
日本より送金	Rs 706,935	Rs 277,778	¥ 500,000	
合 計	Rs 1,629,618	Rs 1,208,823	¥ 2,175,881	

支出の部

項目	予 算	決 算	円概算	備 考
管理維持費	Rs 730,000	Rs 794,528	¥ 1,430,150	
スタッフ給与	Rs 270,000	Rs 278,465	¥ 501,237	Rs 22,670 ×12ヶ月
電気水道費	Rs 100,000	Rs 276,640	¥ 497,952	オイル TAX, 電気メーター交換
計理士費	Rs 55,000	Rs 55,000	¥ 99,000	監査費
僧院管理費	Rs 160,000	Rs 141,536	¥ 254,765	スタッフ制服・各部屋管理・仏前等
典籍・備品費	Rs 140,000	Rs 39,077	¥ 70,339	電気/温水リペア/汚水タンク清掃
書類作成費	Rs 5,000	Rs 3,810	¥ 6,858	コピー代
特別維持費	Rs 254,600	Rs 0	¥ 0	
学校維持費	Rs 348,000	Rs 251,186	¥ 452,135	
教師給与	Rs 78,000	Rs 72,400	¥ 130,320	Rs 6,050 ×12ヶ月
文具・菓子・昼食	Rs 90,000	Rs 94,231	¥ 169,616	
その他経費	Rs 180,000	Rs 84,555	¥ 152,199	制服・セーター等
予備費	Rs 297,118	Rs 163,109	¥ 293,596	次年度繰り越し金
合 計	Rs 1,629,718	Rs 1,208,823	¥ 2,175,881	

次年度繰越金 Rs 421,783(¥717,031)

○平成28年度インド仏心寺を支援する会予算

自：平成28年1月1日～至：平成28年12月31日

収入の部

項目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
支援会員会費	800,000	780,000	Δ 20,000	
協賛会員会費	150,000	150,000	0	
里親会員会費	450,000	450,000	0	
寄 付	650,000	800,000	150,000	
一般寄付	50,000	80,000	30,000	
設立会員	600,000	720,000	120,000	
雑収入	100	100	0	利息他
繰越金	407,224	194,503	Δ 212,721	平成27年度会計より
合 計	2,457,324	2,374,603	Δ 82,721	

支出の部

項目	前年度予算	本年度予算	増 減	備 考
事業費	1,371,790	1,320,000	Δ 51,790	
インド仏心寺送金	1,201,790	1,220,000	18,210	
支援する会事業費	170,000	100,000	Δ 70,000	イベント制作等
広報費	70,000	80,000	10,000	機関誌印刷発送
事務費	30,000	20,000	Δ 10,000	通常案内印刷等
会議費	10,000	10,000	0	
通信費	40,000	30,000	Δ 10,000	通常案内発送等
備品費	10,000	10,000	0	
消耗品費	30,000	30,000	0	
旅行交通費	750,000	700,000	Δ 50,000	駐在僧渡航費及び駐在手当補助等
福祉費	-	12,000	12,000	
雑費	70,000	70,000	0	振込手数料等
予備費	75,534	104,603	29,069	
合 計	2,457,324	2,374,603	Δ 82,721	

○平成28年度インド仏心寺予算

自：平成28年1月1日～至：平成28年12月31日

収入の部

項目	前年度予算	本年度予算	円概算	備 考
銀行残高	Rs 14,423	Rs 131,020	¥ 235,836	1ルピー=1,8円
現金残高	Rs 407,360	Rs 32,089	¥ 57,760	
現金収入	Rs 500,000	Rs 600,000	¥ 1,080,000	
寄付金箱収入	Rs 1,000	Rs 1,000	¥ 1,800	
日本より送金	Rs 706,935	Rs 677,778	¥ 1,220,000	
合 計	Rs 1,629,718	Rs 1,441,887	¥ 2,451,208	

